

目の病気専門 一貫治療

アイセンター開所 山科・音羽病院

京都市山科区の洛和会音羽病院に、目の病気を専門に扱う「アイセンター」が開所した。白内障手術に最先端のレーザー機器を取り



待合室を取り囲むように五つの診察室や検査室が並ぶアイセンター（京都市山科区・洛和会音羽病院）

入れたほか、診察から手術、視覚障害者の生活のケアまで一貫した治療を行う。独立型の眼科施設を持つ総合病院は珍しいという。

センターは3階建てで、1階は80席の待合スペースを中心に、診察室や検査室各5室が並ぶ。2、3階には、視覚障害者用の補助器具を紹介するロビー・ビジョン外来や三つの手術室を設けた。常勤医は5人でスタートし、将来的には10人に増やすという。

高齢化が進む中、高齢者がかかりやすい白内障や加齢黄斑変性、網膜剥離などの病気にきめ細かく対応する狙いがある。栗山昂治センター長は「京都、滋賀の患者に頼られ、開業医が気軽に紹介できる施設にしたい」と話した。

（岡本早苗）